

恵まれた越生町の自然環境を守るために  
河川の水質調査結果について

町では令和元年度に河川の水質調査を3回実施しました。主な採水場所と、その結果（年平均値）は表のとおりです。

越辺川は、環境省が定める河川環境基準AA～E類型（AA=きれい・E=汚い）のうち、A類型に指定されており、水質汚濁に係る環境基準では、大腸菌群数以外の項目で適合しております。

大腸菌群数については、A類型に指定されている県内の河川33地点のうち、全地点の年平均値が環境基準を超過している状況であり、越辺川の水質が特に悪いことではないと判断できます。

今後も、更なる水質環境の保全向上を目指し、公共下水道への加入促進と合併処理浄化槽の普及率、維持管理の周知徹底を図っていきます。みなさまのご家庭でも適正な污水处理にご協力くださるようお願いいたします。

項目	A類型 環境基準値	越辺川 (黒山)	越辺川 (西和田本堰)	渋沢川 (大谷取水堰)	越辺川 (山吹橋)	越辺川 (越生大橋)	渋沢川 (ときがわ町との境) ※年1回
水素イオン濃度	6.5以上8.5以下	8.0	7.9	7.7	7.9	7.8	7.4
溶存酸素量	7.5mg/l以上	10.7	10.2	9.9	10.3	10.1	8.4
生物化学的 酸素要求量	2mg/l以下	0.5未満	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5
浮遊物質量	25mg/l以下	1	1	3	1	2	4
大腸菌群数	$1.0 \times 10^3$ MPN/100ml以下	$3.7 \times 10^3$	$6.0 \times 10^3$	$7.1 \times 10^4$	$2.4 \times 10^4$	$2.3 \times 10^4$	$7.9 \times 10^4$

**水素イオン濃度：**7.0が中性、これより小さいと酸性、大きいとアルカリ性を示します。

**溶存酸素量：**水中に溶けている酸素量のことです。著しく減少すると生物は窒息します。

**生物化学的酸素要求量：**水中の微生物により有機物が酸化・分解されるときに消費される酸素の量です。数値が高いほど汚濁度が高いことを示します。

**浮遊物質量：**数値が高いと水が濁り、光の透過を妨げて、生物の呼吸に悪影響を及ぼします。

**大腸菌群数：**水中に多く検出される場合、人畜のし尿等が混入している可能性があります。